

一則此ノ如ク他ノ書ニ第ニ天隊ハ創立以來ノ...  
 キニ其ノ歴史ヲ閉ジ祖國盛衰ヲ併セテ是戰ノ日袁  
 昔ノ夢物語ノ如ク本條ノ如クニ往時ヲ追想セバ又感慨  
 無量ニモナリ 當時ノ將兵ガ力留ノ勸呼ニ送リテ  
 弟ニ袁々葉々ニ中絶ニ性命ノ運奉ニ身命ヲ祖國ニ捧  
 出テ敢闘シモナリ 二十天隊ノ歴史モ後ヤトハ胡ハ血ニ染ラレ  
 祖國ノ一頁ナリ  
 次ニ部隊トシテ特記スルヤ作戦ノ戦闘ニシテ  
 大宇作戦 東平湖作戦  
 馬鞍山ノ戦 柳庄ノ戦  
 第二回田柳庄ノ戦  
 上野漢ノ戦

昔出於唐、歲時

尚、縣、歲、時

中、繩、作、歲

J

三機重工業株式會社  
名古屋屋發動機製作所

名古屋東區大幸町 電話代表千二〇一

昭和二十一年 四月九日	石四八二部隊加藤隊才一中隊戰鬥機
昭和二十一年 四月九日	早朝敵機長港ヲ突撃シテ連中ノ報十五時辰ノ
昭和二十一年 四月九日	中隊ハ河川第一中隊(新月中尉)久喜陣三十二高地
昭和二十一年 四月九日	第三隊(志水少尉)長港第三隊井井 尉
昭和二十一年 四月九日	喜陣戰鬥配備ニ付(此時四隊)加藤隊
昭和二十一年 四月九日	正午ニ八第二中隊志水少尉此地附近ニテ白兵戰
昭和二十一年 四月九日	展開半數戰死百傷者ヲ云
昭和二十一年 四月九日	二四時中隊全官死此時三時中隊半數戰死
昭和二十一年 四月九日	港方面ヨリ前進久喜陣ヲ突撃シテ敵三對ニテ
昭和二十一年 四月九日	白兵戰ヲ行ヒ新田中尉并陣少尉戰死志水少
昭和二十一年 四月九日	尉重傷各々小隊長ヲ世々々々兵六一大混札ニ
昭和二十一年 四月九日	長

三菱重工業株式會社 名古屋屋發動機製作所

名古屋屋東區幸町 電話代番二〇一

昭和二十五年 四月二十五日	將隊上等兵隊大隊本部集結	白告戰夜間切込ヲ統行事故、負傷	中隊本部隊本部 後退首尾 高地、後退	中隊本部隊本部 後退首尾 高地、後退	中隊本部隊本部 後退首尾 高地、後退	中隊本部隊本部 後退首尾 高地、後退	中隊本部隊本部 後退首尾 高地、後退	中隊本部隊本部 後退首尾 高地、後退	中隊本部隊本部 後退首尾 高地、後退	中隊本部隊本部 後退首尾 高地、後退	中隊本部隊本部 後退首尾 高地、後退	中隊本部隊本部 後退首尾 高地、後退	中隊本部隊本部 後退首尾 高地、後退	中隊本部隊本部 後退首尾 高地、後退	中隊本部隊本部 後退首尾 高地、後退	中隊本部隊本部 後退首尾 高地、後退	中隊本部隊本部 後退首尾 高地、後退	中隊本部隊本部 後退首尾 高地、後退	中隊本部隊本部 後退首尾 高地、後退
------------------	--------------	-----------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------

第 號 (付屬書類 通)

昭和 年 月 日

石井田八郎 部員 金太郎 (若田) 隊員 後退

昭和二十五年四月二十五日 隊員 後退

隊員



右方四八二部隊長津隊第三中隊(野中)校略

一中隊ハ甲子嶺下今直ニ安波部附近ノ設設障地ニ幾斗配備

付

四月十九日夕方伊祖弓面力一線ハ白鳥隊辰辰敵ニ大ナル損害ヲ與シ夕

北毛部カ部隊ノ損害ニ相シテ報ヲ受ク

四月十九日三時頃伊祖ト安波部ノ中間ノ川上少隊ノ障地ニ中隊ノ主力ヲ

集結伊祖ニ向テ新込ヲ敢行ス

編成 指揮班 中隊長以下 十五名位

第一小隊 野畑少尉 二十名

第二小隊 城戸少尉 三十名位

第三小隊 川上少尉 三十名位

四月二十日一時頃指揮班カ第三小隊ハ伊祖ノ正面ヲ攻塞開始ス

第二小隊ハ 右第一線ヲ攻塞開始ス

第一小隊ハ 左第一線ヲ攻塞開始ス

四月二十三日三丁方頃より敵多数に戦斗を交へ、到る所至り手榴弾戦を

展開せり、四時頃迄に敵は甚大なる損害を蒙り、我が方も此

戦斗に中隊長野村少尉、城戸少尉以下多数の犠牲者あり

出入東田堤附近に負傷者多数に生存者共約十五名位を指揮

し、柳瀬ノ橋より領地朝ヨリ馬車路迄より大砲放射等あり

相率二敵の攻害を受け、二十二日十五大隊に急接を受け、二十五日

夜脱出又ハ此に居不祖ノ58高地にて部隊本部と共に戦斗を

續行し、四月二十八日頃全滅トナリ

四月二十五日一丁某橋ノ外に居り、兵士八部隊に命令に依り、木村曹長ノ

指揮に入る。木村曹長は生存者約三十五名位を率ゑ、安波茶

中隊に指揮せしめ、結せし大城内に32高地に警備をアタリ

四月二十三日頃城内に32高地附近に戦車を伴て戦斗し、夜内ハ敵陣

地を斬返り、敵行敵に相率大に損害を蒙り、我が方も機用

銃、自動小銃、彈薬、糧秣等多数を占領せり、其の物大ナリ

四月十九日夜木村曹長以下三名(惣括捕虜者)脱出ス、其の夜脱出ニテ

部隊に生存者ト共ニ戦斗ス

五月二日木村曹長以下二名位(野夜に脱出、戦員傷者多シ)を指揮し、

重砲隊附近に線路を警備ス

五月三日戦車ヲ伴て七名敵ト戦斗し、交へ、白鳥隊展開敵に相率大に損

害を蒙り、生存者共八三名位に長以下五名ナリ(負傷者多数)ハ

各々大敵に配属戦斗を續行ス

不詳敵隊内、戦況、要因ハ不明ニシテ、其の詳ハ不明

不明

不明

不明

不明

不明

不明

不明

不明

不明

不明

石部軍八部隊機回銃中隊

機回銃中隊長 中島中尉

指揮班 中村准尉以下

第一隊 河本中尉以下

第二隊 入河内中尉以下

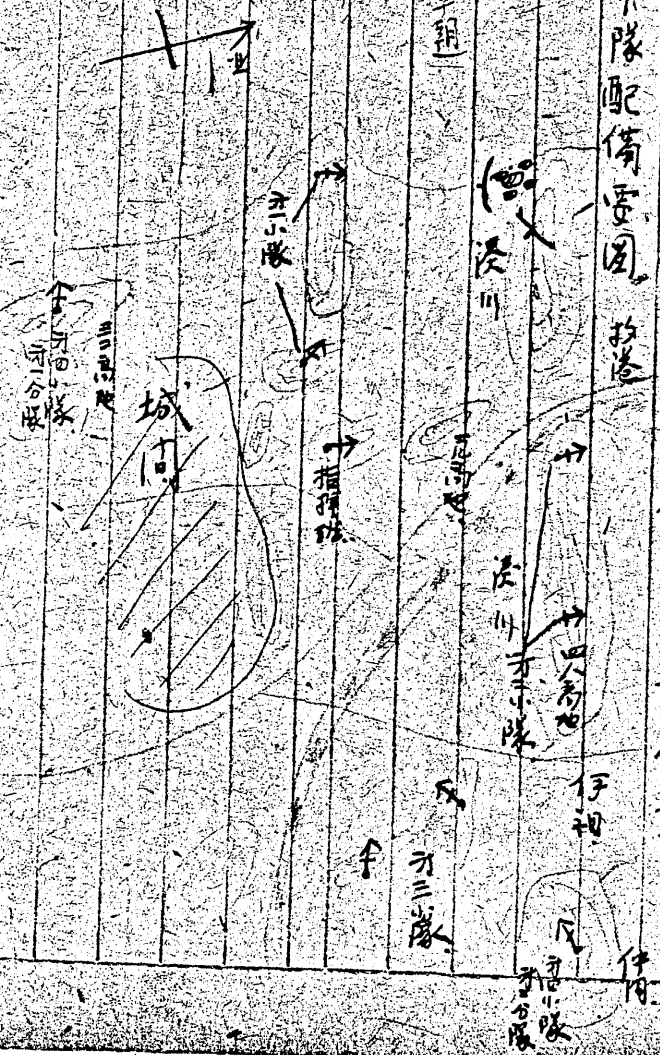
第三隊 小島中尉以下

第四隊 梅沢中尉以下

機回銃機回銃九挺機回銃一擲彈筒一銃若干

敵上陸時中隊配備要圖 抄送

四月十九日現在(草圖)



四月十九日 淡路西部海岸に水陸両用戦車五隻見ゆ

十時頃 第一隊より正敵二敵見ゆ 報果に以後消息不明 全員戦死せり

如し 十一時頃 第二隊より須後分隊六戦車改車を受 指揮班

引揚げ

十一時頃 中隊指揮班一行 箇小隊を編成し 九島地(以降地)に隊

陣地を攻め 壯烈に戦ふ 擲彈筒を展南敵を後退せしむ

我々の損害甚大なり 止むに可からず 指揮班を後退せしむ

同夜部隊を総攻撃す 第一隊を全員戦死

同夜 敵軍は三隊を擧げしむ